

自己資本の構成に関する開示事項
平成27年9月末（速報値）

【連結】

（単位：百万円、%）

項 目	当中間期末	経過措置による 不算入額	前中間期末	経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	327,990		313,427	
うち、資本金及び資本剰余金の額	32,493		32,493	
うち、利益剰余金の額	301,571		286,814	
うち、自己株式の額（△）	4,390		4,383	
うち、社外流出予定額（△）	1,684		1,496	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△ 271		-	
うち、為替換算調整勘定	-		-	
うち、退職給付に係るものの額	△ 271		-	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	650		528	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	38,259		35,672	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	38,259		35,672	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		20,000	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	12,552		12,641	
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	379,180		382,270	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	42	170	-	215
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	42	170	-	215
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-

負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
退職給付に係る資産の額	-	-	-	-
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	2	8	-	8
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	1,678
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	1,678
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	44		-	
自己資本				
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	379,135		382,270	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	3,056,916		2,849,698	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 3,820		△ 4,097	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）	170		215	
うち、繰延税金資産	-		1,678	
うち、退職給付に係る資産	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 4,000		△ 6,000	
うち、上記以外に該当するものの額	8		8	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	149,522		149,727	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	3,206,438		2,999,426	
連結自己資本比率				
連結自己資本比率（（ハ）／（ニ））	11.82		12.74	

【単体】

(単位:百万円、%)

項 目	当中間期末	経過措置による 不算入額	前中間期末	経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	325,718		311,314	
うち、資本金及び資本剰余金の額	32,493		32,493	
うち、利益剰余金の額	299,325		284,726	
うち、自己株式の額(△)	4,416		4,409	
うち、社外流出予定額(△)	1,684		1,496	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	650		528	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	33,834		35,357	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	33,834		35,357	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		20,000	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	360,203		367,200	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	40	160	-	197
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	40	160	-	197
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	-	-	-	-
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	2	8	-	8
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	-	-

特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	42		-	
自己資本				
自己資本の額（イ）－（ロ）（ハ）	360,161		367,200	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	3,030,571		2,822,793	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 3,831		△ 5,793	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）	160		197	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 4,000		△ 6,000	
うち、上記以外に該当するものの額	8		8	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	142,086		142,052	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	3,172,657		2,964,845	
自己資本比率				
自己資本比率（ハ）／（ニ）	11.35		12.38	